

平成29年  
第 92 号

## 大鉢協

2月20日  
発行ホームページでも  
ご覧いただけます大阪鉢螺卸商協同組合  
<http://www.daibyokyo.com>

## 「大阪城公園の梅と野鳥」 岩崎暁生

- ◇「年頭所感」松井一郎 大阪府知事… 2~3
- ◇「年頭所感」増谷彰彦 理事長… 3
- ◇平成29年 新年互礼会開催 …… 4
- ◇西年生まれ経営者アンケート …… 5~6
- ◇組合だより …… 6
- ◇委員会だより …… 7~8
- ◇支部だより …… 8~9
- ◇随想投稿欄… 10~13  
 (稻員洋、紺屋直子、竹上浩史)  
 (岩田育昇、小林敬)
- ◇OS会の頁(武田透、河野裕)… 14~15
- ◇F E 図面セミナー開講 …… 15

- ◇第8回 テニス大会 …… 16
- ◇第7回 ランニング同好会 …… 16
- ◇関西ねじ協同組合と合同行事 …… 17  
 (ゴルフコンペ、ハイキング)
- ◇FEジュニアセミナー開講 …… 18
- ◇由良豊一氏 逝去 …… 18
- ◇平成28年 講演会&忘年会 …… 19
- ◇[シリーズ] 私の宝物(内桶祥子) …… 20
- ◇表紙のことば(岩崎暁生) …… 20
- ◇今後の主な年間スケジュール …… 21
- ◇編集後記 …… 21
- ◇協賛廣告 …… 22

目

次

## 平成29(2017)年 知事年頭所感

大阪府知事 松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。

昨年、大阪を訪れた外国人の方が過去最高を4年連続更新するなど、大阪の賑わいや景気にも明るい兆しが見えてきました。この流れを本格的なものとし、府内のすみずみまで景気回復を行きわたらせ、府民の皆様が豊かさを実感できる大阪を実現したいとの思いを強くしています。

このため、府政においては「変革と挑戦」を基本姿勢に、これまでの成果を土台に、民間、市町村はじめ関係機関と連携しつつ、具体的な取組みを本格化する年にしたいと思います。

現在、大阪府では、2025年日本万国博覧会の誘致をめざし、国、経済界と一体となった取組みを進めているところです。万国博覧会は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック後の成長の起爆剤となります。また、イノベーションを促し、社会のあり方をも変える世界的なイベントです。その圧倒的な求心力や発信力、すなわち世界中の人々の出会いや交流を生み出す力こそが、これから日本の成長の鍵となります。今後、国において閣議了解を経て、BIE（博覧会国際事務局）に登録申請をすることになります。大阪・関西で「人類の健康・長寿への挑戦」をテーマとした万国博覧会が実現できるよう、オールジャパン体制のもと全力で取り組んでまいります。

東西二極の一極を担い、豊かな大阪を実現する“副首都・大阪”的確立・発展に向けた取組みも進めます。東京とは異なる個性・新たな価値観をもって、平時にも非常時にも日本の未来を支え、けん引する成長エンジンの

役割を果たすべく、都市としての機能強化に努めます。新たな大都市制度については、住民の皆様のご意見をお伺いし、議会の皆様と丁寧に議論を重ね、平成30年秋に住民投票を実施したいと考えています。

我が国新たな大動脈となるリニア中央新幹線は、東京、名古屋、大阪の三大都市圏が一体化したスーパー・メガリージョンの形成を実現し、国土軸を強化する極めて重要な社会基盤です。この度、大阪延伸の開業時期が従来計画の2045年から8年前倒しとなりました。引き続き、リニア中央新幹線の早期全線開業を国等へ求めてまいります。併せて、北陸新幹線の大坂への早期延伸についても、強く働きかけてまいります。

新エネルギー、ライフサイエンスなどの成長産業分野では、国際競争力強化に向けた環境整備を進めてまいります。世界トップクラスのライフサイエンスクラスターの形成を進めるとともに、万国博覧会のテーマに関連する健康・長寿関連産業を育成してまいります。併せて、これまで大阪産業を支えてきたものづくり中小企業の基盤を活かし、イノベーションの創出に取り組んでまいります。

魅力あふれる都市空間の創造に向け、大阪の顔となる「うめきた2期」などの都市基盤の整備や、企業・住民が主体となったみどりの創出などに取り組みます。大阪の競争力強化に資するインフラ整備に関しては、淀川左岸線延伸部の新規事業化をはじめ、交通ネットワークの充実・強化に引き続き取り組んでまいります。

大阪を訪れた外国人の方は、知事に就任しました平成23年には150万人を超える程度でしたが、今や1000万人にまで迫っています。昨年、都市魅力のさらなる充実・向上につい

ては、2020年の来阪外国人旅行者数1300万人という高い目標を掲げました。大阪を世界的な創造都市、国際エンターテイメント都市へと加速させ、世界にアピールしてまいります。また、「統合型リゾート(IR)」については、国における推進法の成立を受け、府市でスピード感をもって必要な取組みを進めてまいります。

次の時代の大坂を担う多様な人材が育ち、活躍する大阪の実現のため、学力・体力向上への取組や英語教育の充実、課題を抱えた児童・生徒への支援などすべての子どもたちの学びを支えます。昨年は公私教育を一元的に行うため教育庁を設置しました。これを機に、公私連携の一層の強化を図り、大阪の教育力の向上をめざしてまいります。

大規模地震などの災害から府民の命を守り被害を軽減するため、安全・危機管理機能の

強化に取り組みます。南海トラフ巨大地震対策では、人命に関わる緊急性が高い箇所の防潮堤の液状化対策を今年度中に完成させるなど引き続き対策を進めてまいります。

また、誰もが健やかで心豊かに生活できる社会の実現をめざし、府民の健康寿命の延伸などの取組みを着実に推進します。

保育所の待機児童の解消については、保育所や保育人材の拡充に取組みます。事業所内保育所の設置推進や国家戦略特区による多様な保育人材の活用を目指すなど、幅広く取組みを進めてまいります。

今年も府庁組織一丸となり、施策を力強く推進してまいりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願ひいたします。本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。

## 年頭所感 『感度と鮮度』をもって、更なる成長を

理事長 増 谷 彰 彦



あけましておめでとうございます。

それぞれ皆様、気持ち新たに新春を迎えられたことと思います。

今年が皆さんにとりまして、新たな飛躍と実り多い年となりますことを願っております。

2017年の年初にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

大阪鉄螺卸商協同組合は、『全員参加』『全員行動』『全員飛躍』『全員感謝』のもと、副理事長・専務理事・理事・各委員会の委員長・委員の皆様の積極的で献身的なご協力で、順調に推移しております。深謝申し上げます。

本年は、組合事業の成長を具現化する年として大いに期待するところであり、組合員皆様のチャンスを確実にとらえ、乗り遅れることなく、皆様と一緒に邁進して参りたいと思います。

『基幹事業の基盤強化』や『市場変化の先取り』『スピード感』『実践と行動力』『タイミング』そして『実行力』が大切です。

昨年は、関西ねじ様との共同事業をいくつかさせて頂きました。今年も製販一体となれるよう、親睦を深めて参りたいと思います。

皆様の尚一層のご理解とご協力をお願ひいたしますと共に、本年が健康で実りある素晴らしい年となりますよう、お祈りいたします。

# 盛大に新年互礼会を開催

## 総勢110名で門出祝う

1月13日に大阪市内の「ヴィアーレ大阪」において新年互礼会を挙行しました。当日は組合関係者をはじめ、大阪府や関係団体の来賓、OS会の幹事など110名が出席しました。



挨拶する増谷理事長

司会進行は久保哲也氏(総務委員会・副委員長)。始めに増谷理事長が壇上に立ち、各委員会の活動紹介を交えながら、「昨年より関西ねじ協同組合との合同行事が行われている。まずは交流を深めるところから始めていきたい。また今年の方針としてはBCPを取り上げ、近日中にセミナーを開催する予定となっている。是非活用してもらえばと思う」旨話し、また4年後の2020年に本組合が設立70周年を迎えることに触れ、「70周年に向けて周年行事の準備を始めたい。組合の理念である『全員参加・全員飛躍・全員行動・全員感謝』のスローガンの下、取り組んでいきたい」旨挨拶をしました。

続いて来賓の5氏が紹介された後に、黒石和也主査(大阪府商工労働部 商業・サービス産業課)と田村弘子課長(大阪市経済戦略局 産業振興部商業担当課長)より祝辞を頂きました。

恒例であるOS会の幹事紹介では代表幹事となった武田透氏(三晃商店)が挨拶に立ち、先に行われたNOST交流会への協賛に対し

て謝意を述べた後に「今年は新入会員として7名を迎えることになった。今年は5人の幹事と共にOS会を盛り上げていきたいと思うので、温かい目で見守ってほしい」旨挨拶しました。

この後本年の歳男(別項)8名に増谷理事長から記念品が贈られ、代表して和田正氏(ヤハタ)が「今年は“ひのど”ということで機が熟す年とされている。還暦を迎えたが、これからは余裕を持って過ごしたい」と贈呈の御礼を述べました。また2月に事務局を退職する小林則子さんへの記念品贈呈も行われました。

祝電の披露を挟んだのち、細山田秀明相談役が「今年は酉年ということで皆様に羽ばたいていって欲しい」と挨拶し乾杯の音頭をとりました。中締めの挨拶は藤澤義弘副理事長が務め、今年初開催となる「F E検定」に触れた後に、「大きな波に呑まれないよう頑張っていきたい」旨閉会の辞を述べ、最後は“一本締め”で盛況裡に散会となりました。

平成29年・酉年歳男氏名(敬称略、順不同)

▽後藤芳恭(ゴトウ) ▽辻敏三(大和鉄螺工業) ▽藤森勝治(藤森製作所) ▽穂積道和(ホヅミ) ▽和田正(ヤハタ) ▽松島眞一(松島ネジ) ▽宮川勝(ミヤガワ金属販売) ▽河野裕(コノエ)



記念品贈呈の様子



OS会幹事一同

# ～平成29年 新春企画～

## 酉年生まれ経営者アンケート

1. ねじ業界に入られて何年になりますか？
2. ねじ業界に入られた動機は？
3. ねじ業界の将来をどう思われますか？
4. 本年の景気予測は？
5. 貴方の好きなスポーツ選手・  
芸能界その他の人、その理由。
6. 貴方の家族構成は？
7. 貴方の座右の銘は？
8. 貴方のご趣味は？
9. 何かスポーツをなさっていますか？
10. 何時もよくご覧になるテレビ番組は？  
その簡単なご講評も。
11. 旅行ブームです。昨年中にお出かけになつた訪問地と、旅行の回数を教えて下さい。
12. グルメの時代は終わっても貴方の推薦のお店と、その自慢料理を紹介下さい。
13. お正月のお休みはいかがなさいましたか？  
初詣・旅行・家庭サービス・それとも？
14. 特に気をつけておられる健康管理方法は？
15. 最後に、2017年に年男となる貴方の新年のご抱負を一言。

**(株)ホズミ**  
**穂 積 道 和**  
**(昭和32年生まれ)**

1. 35年。
2. 家業がねじ屋だったから。
3. 産業の塩ですので商品として将来は有ると思います。
4. 先行き不透明、模索は続く。
7. 温故知新。
8. B級グルメ食べ歩き。
10. ニュース・スポーツ番組等。
11. 東部支部で姫路城方面。
12. 阿倍野の「すし寛」。ここの水晶巻が絶品！
13. 家族と初詣。
14. よく食べよく寝てよく笑うこと！
15. 酉年に付き人生の後半、初心に帰り飛躍の年にするよう頑張ります。

**(株)ヤハタ**  
**和 田 正**  
**(昭和32年生まれ)**

1. 31年。
2. 運命に従い。

3. 明るくするのが我々の使命。
4. アメリカ・中国がカギ。予測不能だが何があってもねじ屋は強い。
5. プロゴルファーの松山英樹プロ。ワクワクするプレイぶりが魅力。
6. 妻と長女。
7. この世に明けぬ夜は無し。
8. 映画鑑賞、ゴルフ番組鑑賞。
9. ゴルフ。
10. 松山英樹プロの出場トーナメントは期待を超える魅力がある。  
阪神の試合（勝っている間のみ）
11. 四国への家族旅行のみ。
12. 八尾市萱振町の「山がや」。釜めしとそばがうまい。
13. 家族団らんと寝貯め。
14. 睡眠（早寝早起き）。
15. 論語にて「子曰く、六十にして耳順う」とありました。自分と反対の意見を聞いても、それに耳を傾ける余裕が持てる年齢。多くの意見を聞いていき公私に役立てたい。

(株)コノエ  
河野 裕  
(昭和56年生まれ)

1. 約11年。
2. 祖父の病気。
3. 節操のない業界になる。
4. 分かりません。
5. 橋下徹…やり方はどうであれ、大阪が変わる糸口を見せてくれたから。
6. 6人家族。
7. 為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり。
8. ドライブ、神社仏閣巡り。
9. 今は何もしていません。
10. テレビはほとんど見ません。
11. 双子が生まれて昨年はどこにも行けていません。

12. 「小ぼけ」道修町店…全部美味しいですが魚が特に美味しいです。
13. 年末に引っ越したのでその片付けに追われました。
14. 体重管理。重くなったら少し減らし、また気を抜くと増える、の繰り返し。
15. 当たり年だからどうこうはありませんが、バタバタしているその羽ばたきが少しでも上向きなものになるよう実らせていきたいと考えています。



## 組合だより

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府商工関係者表彰

株式会社三晃商店  
代表取締役社長 武田等氏  
(平成29年2月)

◎大阪中小企業団体中央会

組合経営功労者

- ・大喜多株式会社  
代表取締役 大喜多正己氏
- ・株式会社三木製作所  
代表取締役 三木茂晴氏  
(平成28年9月)

◎大阪卸商連合会優良団体役員表彰

株式会社山一精工  
代表取締役 桂知伸氏  
(平成29年2月)

◇新社長就任

○本田支部所属

- ・株式会社前野商会  
代表取締役 植月秀一氏  
(平成28年9月)
- ・竹上鉛螺株式会社  
代表取締役社長 竹上浩史氏  
(平成28年10月)

○九条支部所属

- ・株式会社オーワハガネ  
代表取締役 光枝裕治氏  
(平成28年12月)

◇新規加入

○本田支部所属

- ・フカヤ産業株式会社  
取締役 武田喜和氏

◇訃報

○西部支部所属

- ・由良産商株式会社  
代表取締役会長 由良豊一氏  
(当組合相談役)  
(平成28年10月ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

# 委員会だより

## 昨年の活動報告

総務委員長 宮川 勝

皆様新年あけましておめでとうございます。

総務委員と致しまして昨年12月2日に本町にあるセントレジス大阪にて忘年会を開催致しました。

今回の宴会場は少し狭かったのですが、雰囲気、料理、サービスとも最上級感を味わう事が出来ました。

宴会は山田委員の司会にて執り行われ、ゲストには、落語家のDuke KanaDA氏による非常に珍しい英語落語を披露して頂き、日本文化に英語を用いた内容は非常に珍しく宴会を盛り上げて頂いたと感謝しております。

さらに毎年恒例のbingo大会も盛大に執り行われ沢山の組合員様方に豪華景品をお持帰りして頂けたと思います。

中締めの挨拶として鈴木副理事長の元気溢れる大阪締めで無事宴会を締める事ができました。今年もまた違った企画で総務委員一致団結して忘年会を企画また盛り上げていこうと考えております。

さて2017年の総務委員会の活動ですが、年初め1月13日にヴィアーレ大阪にて新年互礼会を開催致しました。久保副委員長の司会により増谷理事長の新年挨拶、細山田相談役の乾杯また最後には藤澤副理事長による中締めと新年早々盛大に執り行う事ができました。

今年も色々な行事がありますので皆様のご参加お待ちしております。

## ついに晴れました!

福利厚生委員長 本田 裕久

新年あけましておめでとうございます。

平素は福利厚生事業にご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。今年は酉年、委員一同、バタバタ頑張っていきますのでよろしくお願ひ致します。

さて昨年の事になりますが、10月30日に第8回テニス大会を何年ぶりかの晴天の中、無事に終えるとこがきました。参加して頂いた皆様、朝早くから丸一日お疲れ様でした。やはりレベルが上がっているようで、試合時間が長くなることもあり、試合内容などを委員会で話し

合い、より良い大会になればと思っております。

直近では2月26日に第43回ファミリーボウリング大会を開催致します。ご参加の皆様よろしくお願ひします。

当委員会では今年も7月23日より野球大会を予定しております。毎年同様、多数のチームのご参加お待ちしております。

## 今年の活動予定

経営委員長 桂 知伸

平素は何かと経営委員会の行事にご協力賜り御礼申し上げます。また、年末の講演会にも多数の方にご参加いただき重ねて御礼申し上げます。

年末の講演会でJETRO専門家・真野秀次郎講師から中小企業が抱える課題及びSWOT分析を用いたその対等方法をご講演頂きました。皆様のご参考になれば幸いです。

本年度は大阪府に支援を頂きBCP(事業継続計画)の普及・策定の研修を2月7日(火)、3月10日(金)に開催致します。

実際に災害が発生した時に企業としてどの様に対応すべきか ◎従業員の安全確保 ◎得意先及び仕入先との連絡方法等をDVDを活用し疑似体験し各組合員の会社ごとのBCP策定の支援を受ける内容です。

本年度も経営委員会の活動にご理解とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

## 地に足をつけて活動を

労務副委員長 大山 寛之

皆様新年明けましておめでとうございます。

日頃は何かと労務委員会の行事に御協力頂き有難うございます。今年は申年に続く酉年です。酉年の年は騒がしいと言われるように、世間はトランプ劇場を始めとして何かと騒がしくなっていますが、労務委員会は梅田委員長を中心として地に足を付けて頑張ってまいります。

今年も行事はFEセミナー(3月)、工場見学(6月)、FE検定(10月)、ジュニアセミナー(11月)と盛り沢山です。工場見学は表面処理とスプリングの加工を見るという事で、阪神スリーボンド様と特殊発條興業様を見学する予定

です。

又、FE検定は初めての試みでもあり、ジュニアセミナーは(株)サイマコーポレーションの斎間社長に講義して頂く予定です。例年通りの予定の中にも変化を持たせてていますので、今年も労務委員会の行事参加に御理解、御協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 充実した一年に

### 業務委員長 垣内 龍夫

新年あけましておめでとうございます。平素は業務委員会の各種事業にご理解、ご協力を賜わりまして、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて2017年度の干支十二支は、丁酉にあたります。丁は古代象形文字の釘から来ており、安定するという意味があるそうです。一方、酉は酒を作る酒壺の象形文字だそうで、収穫した作物が発酵し熟成される様から「実る」や「変革」などの意味があり、新しく生まれ変わる機が熟している状態を表現しているとのことです。また、周りの人たちと調和を大切にして、物事に慎重に取り組む姿勢を持ってば、新しい流れが始まられる年とも表現されています。私も、五十代最後の年ですので、この丁酉年が、充実した一年となることと願っております。

また本年度も、例年通りねじ手帳、ダイアリー、ファスナーカレンダーを販売致しますのでその折にはよろしくお願ひ致します。その他、

共同購買、出版、保険、カーリース等にも引き続きのご協力をいただきます様重ねてお願いいたします。

最後になりますが今年2月で勇退をされる事務局の小林さんにおかれましては本当に長い間ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

## 『大鉛協』は冊子で継続

### 広報委員長 北川 浩史

平素は、広報委員会の活動にご協力を賜りありがとうございます。この度も「大鉛協」92号を無事発行できましたこと厚く御礼申し上げます。

近年、通勤電車の中で新聞紙を読んでいる人を見受けなくなりました。数年前は、スマートフォンを見ている人を時代の最先端と感じたものでありますが、最近は逆に新聞を読んでいる人をカッコいいとも感じてしまいます。

紙媒体の冊子が消えつつある世の中ではあります、広報誌「大鉛協」は今年も冊子で発行して参ります。デジタル派の方々にはホームページからもご覧いただけますので、皆様の素晴らしい寄稿文を組合員皆様が拝読していただければと願っております。

広報委員会では今年も本誌の発行を主に情報発信をして参ります。また新企画など色々とご意見を頂ければ幸いです。

## 支部だより

### 今年の予定

#### 本田支部長 大喜多 正己

日頃は本田支部の運営にご協力いただきありがとうございます。

10月に予定していた行事は、諸般の事情からいったん見送りとなりました。ということで、3月の支部旅行が新体制での最初の行事となります。時間が空いてしまい、支部の皆さんは寂しい思いされていたのではないでしょうか。誠に申し訳なく思っています。

支部旅行は3月の12～13日、姫路から湯郷温泉、赤穂を巡る旅を計画しています。今回

は比較的近場で楽しみ、来年度はまた違った趣向にできればと思っています。続けて3月下旬にはタイガース観戦@大阪ドーム、年度が明けて5月には支部総会と、皆で顔を合わせる機会が増えてくる、楽しい時期がやってきます。今後とも、どうか宜しくお願ひ申し上げます。

### 梅に鶯の様な支部でありますように

#### 中央支部長 小西 弘美

新年明けましておめでとうございます。  
支部の皆様方におかれましては、お健やか

に初春をお迎えの事と思います。平素は支部活動にご協力を頂き誠に有難うございます。

昨年は海外に於いて、予期せぬ出来事が色々有りました。その予期せぬ出来事の中の一つとして、今年はいよいよトランプ米大統領が1月に就任しましたが、今年の干支酉年の縁起に有る様に『とりこむ』事を願い景気が上向けばと思います。

さて今年の支部行事計画として2月中旬に新年食事会・4月は恒例の野球観戦・支部総会・8月に暑気払い食事会・11月中旬に一泊研修旅行を計画しております。変わり映えのしない計画ですが宜しくお願ひ致します。

何かとお忙しいと存じますが、昨年同様に支部活動へのご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

## 驚きから感動へ？

### 西部支部長 三木 茂晴

新年あけましておめでとうございます。

支部の皆様、組合の皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えのことと存じます。平素は西部支部の活動に御協力頂き厚く御礼申し上げます。

今回も昨年1年を振り返ってみましょう。

シャープ買収される。熊本地震。オバマ氏広島訪問。イギリスEU離脱。オリンピック男子400mリレー銀メダル。トランプ氏米大統領に。朴大統領弾劾。鹿島アントラーズ、レアルと接戦、と昨年は驚かされる1年でした。今年の酉年はどんな年になるのでしょうか？

ところで、西部支部におきましては、昨年は、新年会・旅行・ゴルフと3大行事を開催し親睦を深めました。支部において驚かされたことは、何と言っても肉づくしの旅行です。肉好きの私もしばらくは…。今年の旅行テーマはなんだろう？驚きの次といえば感動でしょうか？楽しみです。

今年は(も)新年会・旅行・ゴルフと3大行事を開催し、より一層の親睦を図ってまいりたいと考えております。今年もよろしくお願ひいたします。

## 今年も明るい年に

### 九条支部長 馬渕 健司

新年あけましておめでとうございます。

支部の皆様方にはお健やかに初春をお迎えの事と存じます。平素は支部活動にご協力を頂き誠に有難うございます。昨年はイギリスのEU離脱、トランプ氏勝利など多くのマスコミの予想に反する出来事がありましたが、グローバル化によって大きな富を得た一部の資産家や富裕層、それに全く関係のない多くの大衆の現状への不満の噴出、その格差の大きさが想像以上に大きくなっていることの象徴のような気がします。世界は一気に内向きの自国優先になり、益々不透明感が出てきていますが、我々はしっかりと周りをみて、なんとか明るい年にしたいものです。

支部の活動としましては、昨年9月17日に恒例の九伸会ゴルフコンペを増谷様のお世話により本田支部と合同で行いました。また11月には佐藤様、奥山様のお世話により淡路島の熟成の「3年とらふぐ」を堪能して参りました。今後は5月に支部総会を予定しております。本年も支部活動にご協力とご理解の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

最後に2017年が、組合員の皆様方にとって素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。

## 活動報告

### 東部支部長 和田 正

支部員の皆様におかれましては平素より支部活動にご理解ご協力頂き誠に有難うございます。また幹事の皆様、支部の運営に大変ご尽力頂き心より感謝申し上げます。本年も2月に入りましたが月日がたつのが年々早く感じております。

さて支部活動のご報告ですが、昨年の11月11日より1泊2日の日程で姫路城見物と岡山の湯原温泉郷へ親睦旅行に出かけましたがいつも通りわきあいあいの楽しい旅行となり支部員の笑顔が今も脳裏に残っております。

なにぶん秘境でありラーメン店も無い為、ラーメン好きの支部員は上六に戻ってからすぐ食べに行った様です。

2月3日に料亭天繁において行われた支部新年会も大盛り上がりで今年も良い年になる予感を感じました。余談ですが人気のラーメン店も天繁のすぐそばの様です。

今後も支部活動にご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

## 隨 想 投 稿 欄

### スキューバに魅せられて

大弘鉄螺(株)  
稻 員 洋

昨年以前から、趣味であるスキューバダイビングをしに海外へ新婚旅行で行きました。

海外でのダイビングはパラオ、グアム、ハイチと様々なダイビングポイントを経験してきて、ずっと行ってみたかったメキシコのセノーテを新婚旅行のダイビングポイントに決めました。セノーテとはユカタン半島の石灰岩地帯の鍾乳洞がそのまま水没し、そこに雨水が溜まった地底湖になります。

セノーテのダイビングは洞窟ダイビング「ケープダイビング」というもので、今まで経験したダイビングとは異なり、ダイビングスキルを有するダイビングになります。洞窟なので、機材トラブルなどでの緊急浮上が出来ないので、不安のあるダイビングです。今のダイビング免許「オープンウォーター」でも申し込むことは可能なのですが、万が一のトラブルを回避するためにも、スキルアップして『アドバンスウォーター』という免許を取りに行き、万全を期します。

セノーテには沢山のダイビングポイントがあり、そのポイントにより色々な顔があるセノーテ。テレビで有名になったグランセノーテ、チャックモール、ドスオホス、ザ・ピット、タージマハなど。それら、ダイビングポイントは全て民家の敷地内にあるため、ダイバーがお金を払って庭にある地底湖に潜るといったビジネスが成立しているのです。

人気のあるポイントと人気のないポイントは設備が整備されているか?されていないのか?すぐに解ります。インストラクターは緊急浮上などの対処の代わりにタンクを二個装備して潜ります。あとでタンクを背負わせて貰いましたが、かなり腰にきます。

タンクとライトを装備して、いざ地底湖セ

ノーテへ。タージマハというポイントは暗闇の中を進んでいき、いきなり現れる光の柱。こんなにも地球上に綺麗な場所が存在していたのかと一瞬呼吸をするのを忘れてしまうぐらいです。アンヘリータというポイントは水深30メートルのところに、硫化物の屑が雲母のように広がっていて、水中なのに雲の上に浮いたような貴重な体験が出来ます。

当初は一日二カ所で二日間を予定していましたが、セノーテにどっぷりハマってしまった私たちは、もう一日追加して合計6ヶ所行きました。日本から年に一度一ヶ月間セノーテ潜りに来られるお客様がいるのですが、その気持ち凄い分かれます。淡水の地底湖なので魚とかはほぼいませんでしたが、それを超える言葉では表現出来ないぐらいの神秘的な光景が目の前に広がります。

海外でのみのダイビング「リゾートダイバー」聞こえはいいが、車でいうペーパードライバーみたいなものです。機材一式揃えようと思うとかなりの金額を必要とするので、現実的には海外ダイビングになります。

最低でも一年に一回はリゾートダイビングしないとダイビングスキルが鈍るので、また休ませて貰うようにお願ひせねば。非日常時間を自分への御褒美に今日も頑張ろう。

### 旅

太陽ファスナー(株)  
紺 屋 直 子

長期の休みにはどこか旅行に行くことばかりを考えています。

友人が「ここ行ってみたいねんなあ」と漏らせば、「じゃあ行こう! いつ行ける?」と、お決まりの返し。私に気軽に言ってみるものではありません、仲間が見つかればどこへでも行きましたがります。

最近では、そんな調子から旅行の計画が始まります。ツアーは利用せず、いつも自分たちでスケジュールを組み立てます。

昨年、ロサンゼルスへ訪れた時のことです。最大の目的はディズニーランドでしたが、そこはハリウッドなど有名な観光地が溢れている都市、通過点にするにはもったいない…インターネットで旅行記やブログ、情報サイトなどを調べました。「いける！」そう思った私は航空券とホテルの手配だけをし、自らの力で行動することにしました。

ディズニーランドからロサンゼルス中心部までは特急列車で約45分ですが、大きな荷物を持って電車に乗ることや街中を歩くのは少し勇気が必要かもしれません。タクシーやオプショナルツアーでの移動をされている方がほとんどでしたが、旅好きとしては電車に乗ることも楽しみの一つ。特急列車のサイトから時刻表を見つけ出し、昼間の明るい時間に乗りことにしました。この旅行で一番力を入れたのは観光情報よりも列車やバスの路線図の下調べだったかもしれません。

その列車に乗る時が来ました。車内はたくさんの人で溢っていましたが、なんとか2人がけの席につくことができました。向かい側には隣町から乗ってきたという、自分達の親程のお父さんと息子さんでした。息子さんは障害を持っていて、突然質問したり動いたりするかもしれないが許してほしいと声をかけてきました。

私たちも電車での移動で緊張しています、気になさらないでくださいと返しました。するとお父さんは日本人ですか？と日本語で話しかけてきました。そこからお父さんが嬉しそうにロサンゼルスの外せない観光情報や、車窓から見える景色の説明、学生時代に東京へ短期留学に来たことがあり、新幹線の速さに驚いたことなどを話してくれました。残念ながら大阪は分からないとのことでしたが、日本をとても気に入ってくれたようで楽しくおしゃべりしながらあっという間の時間が過ぎました。「アメリカはとても良い国、緊張し

すぎないで楽しい旅を」と言ってくれました。その後の市内観光もバスや地下鉄を存分に使い、短い時間を有効に使って満足のいく旅行ができました。

いつどこで新たな出会いや発見があるかも分かりません。これからも素敵な出会いがあることを期待しつつ、また新たな旅路を探します。

## 自衛隊イベント

竹上鉄螺(株)

竹 上 浩 史

皆さんは、「自衛隊」に対して、どのようなイメージを持っていますでしょうか？「国防を担う、無くてはならない存在」「災害時には、本当に頼りになる」「あれは軍隊だ！戦争反対！」、と、様々な意見があると思いますが、政治的な話は抜きにして、「イベント」としての自衛隊について、話してみたいと思います。

自衛隊イベントで一番有名なのは、やはり「富士総合火力演習」でしょう。ニュースで見たことがある方もおられると思いますが、国内最大級の「実弾演習」です。この規模の実弾演習を一般国民に公開するのは、世界的にも珍しいとのことです。

さて、この世界的にも希な演習を見に行くにはチケットが必要なのですが（もちろん無料です）、その倍率は数十倍という、プラチナチケットになります。駐車場付チケットともなると、百倍から二百倍とも言われていますが、なんと去年、この超プレミアチケットに、見事当選してしまいました！

しかし、ぎっくり腰を煩っていた為、断念せざるを得ませんでした。たかがぎっくり腰ですが、演習場の富士まで、車で5~6時間。駐車場から会場までのシャトルバス待ちに1時間。会場は、ビニールシートを敷いただけのお花見スタイルで（スタンド席もありますが、抽選ですのでどの席になるかは選べません）、真夏の炎天下、数時間座りっぱなしになります。日差しを遮る屋根など無く、日傘も禁止です。

ぎっくり腰では到底無理です。

残念ながら去年は諦めましたが、実は数年前に、2回行くことができました。コネです。友人の父親が関係者ということで、チケットを譲ってもらうことができました。しかし、コネチケットとは言え、中身は一般券ですので、関係者席に優先的に案内してくれることはなく、先ほど言ったように、地獄の行軍が待っています。しかし、苦労して見るだけの価値は、大いにあります。

目の前を、装甲車や戦車が走り回り、上空には戦闘ヘリが舞います。とにかく、実弾射撃の迫力は、筆舌に尽くせません！ 数十メートル先で砲撃するのですが、戦車砲の衝撃波と熱風は凄まじいものです。「ドン」という低い音ではなく、「バン！」という炸裂音が響き渡ります。百メートル以上離れた場所で見ても、衝撃波がやってきます。映画では、ゴジラに全く歯が立たなかつた自衛隊の装備ですが、本物の砲撃を体験すると、確実に倒せると思いました。

このように、一度は見てもらいたい「富士総合火力演習」ですが、相当運が良くないと見ることは出来ません。しかし、駐屯地祭であれば、事前申し込みなどなく、誰でも気軽に参加することができます。

「駐屯地祭」とは年に一回、各駐屯地の創立記念日等に行われる一般解放日で、全国にあるほとんどの駐屯地で行われています。大阪近郊だと、伊丹、八尾、信太山に駐屯地があります。

入場すると、大学の学園祭のように屋台が並んでおり、中には隊員さん自らが販売している屋台もあります。そしてグランドでは、観闘式が行われます。隊員の行進、各種車両の行進が行われますが、2~3m先で戦車が走る光景は迫力満点です。その後、格闘技や太鼓の演舞等が行われ、最後に訓練展示が行われます。

訓練展示とは、敵地制圧を想定した模擬訓練です。観覧席から十メートル程の至近距離で、りゅう弾砲や戦車砲が火を噴きます。比

喻ではなく、本当に火を噴きます。もちろん実弾ではなく空砲ですが。そして一番のイベントは、戦車試乗です。74式戦車の上に、人が乗れる「かご」が設置されていて、そこに乗り、場内を一周してくれます。正に、非日常が体験できます。

このような「駐屯地祭」以外でも、海上自衛隊では、護衛艦や潜水艦に乗艦出来たり、航空自衛隊ではエアショーなどが行われています。去年は、奈良の平城宮上空を、ブルーインパルスが飛行しました。また、音楽隊による演奏会など、毎週どこかで、なにかしらのイベントが開催されています。3月には南港で、陸海空、警察、消防合同による、「防衛・防災フェスティバル」が開催される予定です。皆さんも、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

## 武道の精神

(株)ヤハタ

岩田 育 昇

私には7歳になる娘と4歳になる息子がいるが、昨年の4月から家の近くの少林寺拳法に通わせ始めた。4歳の息子などは、特にまだ道着を着ていると言うより、道着に着られている感満載であるが、それでも姉弟なかよく週2回滅多に休むことも無く通っている。

元々、私自身も少し空手をかじっていたのと、子供には痛みのわかる人間になって欲しいと言う思いから少林寺を習わせ始めたのだが、見学に行くといつも驚かされる事がある。

習いに来ている生徒（少林寺では「拳士」と呼ぶ）は私の息子と同じ3、4歳の子供から、小中高、大学生、一般と幅広くいるのだが、拳士同士はもちろん、父兄にも大きな声で合掌しながら「こんにちは」の挨拶を元気よくしてくれる。また、練習中は必ず、年の大きい拳士が、自分よりも小さい拳士の面倒を常にみており、ただ単に優しいだけでなく、良くない事をした時は、ちゃんと注意したり、厳しく叱ったりしているのだ。

その光景はさながら40人ぐらいの兄弟が

各々弟や妹を見てやりながら武道の練習をしているようなものである。私が子供の頃は、自分の肉親で無くとも、近所のおじさん、おばさんが悪い事をした時などは、注意したり叱ったりしてくれたものだが、最近ではそう言った事も殆ど見かける事が無くなった。学校でも、私は所謂「悪ガキ」であったので、先生に良くゲンコツを貰ったが、その頃はそう言った「教育」を執拗に責めたりするような社会的傾向はなかった。

近年そういう周囲の躾教育が難しく、また、自分や肉親以外への関心も薄れてきている中で、前述のような温かみのある躾教育の環境が、こういった武道を通して健在しているのを目の当たりにし、とても喜ばしく、ありがたいと言う気持ちになった。人の痛みを理解しようとし、人の立場になって考えられる、それによって自分も成長していくとする武道の精神がそこには確かに息づいていた。彼らにはいつまでもこの気持ちを持ち続けて欲しいと思った。

## 拝啓 偉人さん

小林鉄螺(株)  
小林 敬

期限まで一週間を切り、いよいよ逃れられないと観念し、重い腰を引きずりながら改めて今回の寄稿についての案内文を確認する。「随想投稿」あるいは「文芸趣味」とある。事前に内容は自由と聞いているものの、改めて“随想”的意味を調べてみると「折に触れて思うこと」とある。

何となくは理解するも、日常の殆どは腹が減り、食べ過ぎ、苦痛を感じるも、やがて眠くなるような毎日を送る者の随想を、広報誌上で語れる筈もなく、暫し辞書を辿ってみると、例文として太宰治が著書である『碧眼托鉢』（へきがんたくはつ）にて「モンテエニュの隨想録を読み、誠につまらない思いをした」と記した箇所が抜粋されている。

何たることであろうか。モンテエニュがどの

ような思いを込めて記した文章かは存じないが、随想録であるにも拘らずその内容がつまらないとし、後世の辞書に記載されているのである。モンテエニュがこの事を知ったらば、さぞ太宰治に憤慨したのではないだろうか？

私としては、太宰治こそ難解不可解な作品によって、学生時代に苦手な現代国語に一層苦しめられた原因と記憶しており、「筆者の思いを述べよ」というような問題は、ことごとく正解を導けず、当時の私は彼こそ“つまらぬ作家”的代表格に挙げていた。

一方のモンテエニュは、三権分立というキーワード程度しか思い出せないが、教科書の彼の肖像画に落書きをした後ろめたさもあり、何となく崇高な思想を社会に訴えた情熱家に思えてきた。彼の栄誉が後世の同じ日本人によって汚されぬようにと哀願しそうになってきた。

家でこのような内容を高校生になった息子に話すと、話の途中から彼の表情が曇り首を傾げているのが分かった。普段、スポーツや娯楽の話題が殆どの私の口から、太宰治やモンテエニュが出るので無理もないと思いつや、息子が

「父さん、モンテスキューとモンテエニュは別人！」

と教えてくれた。調べてみると、確かに両氏はいずれも思想家、哲学者ではあるが、時代も全く異なる別人であるようだ。よって私が落書きをしたのはモンテスキューであり、モンテエニュは存在すら存じ上げない異人さんであり、私の知識レベルが息子に追い抜かれている事を露呈してしまった。モンテエニュを知るべくネットを見ていると、同氏の格言に感銘を受けた。

『私は何を知っているのだろうか？』  
(Q u e s a i s - j e ?)

己が理解出来ぬ事を棚に上げ、太宰さんの作品を咎めた事を詫びる一方で、知る事の尊さを気付かせてくれたモンテさんに感謝したい。そしてあらためて両氏に「ありがとう偉人さん」と随想するのであった。

# OS会の頁

## ある選手とのレガシー

(株)三晃商店

武田 透

皆さんは昨年末の飛行機事故を覚えていらっしゃるでしょうか？ご存じない方のために説明しますと、ブラジル発コロンビア行きのチャーター便が墜落したという事故です。

んつ、ここまで『なぜこの大鉄協機関誌にこの話題』となると思います。しかし、僕にとっては、今まで人生の中で見てきたどの飛行機事故よりも衝撃的で、悲しい事故でした。勿論、飛行機事故に大小はなくすべての事故において尊い人命が失われたのは重々に理解したうえでの話です。なぜこんなにも他国しかも南米コロンビアで起こった飛行機事故が衝撃だったのか自分の中のリトル武田に聞いてみると、理由は『絆』であることに気づきました。

その『絆』とは何かといいますと、『共感』できる関係と考えます。僕はセレッソ大阪を応援しています。調子に乗って会社も巻き込んで応援するようになっております。2012年の新戦力として『ケンペス選手』が我がチームにやってきました。交流会では気さくに話しかけてくれ、練習場では幼い息子さんとボールを蹴る姿もありました。シーズンが始まるとダービーという大きな試合でロスタイルにゴールを決め、我々サポーターの心の中に、その雄姿を刻み付けてくれました。ただ終盤はチームの調子が下降したこともあり前半戦のような活躍をみせることができず、残念ながらその年限りで契約は終了してしまいましたが、前半の活躍が評価され、半年後に日本の別のチームへ移籍し、得点王になる活躍を見てくれました。

スポーツを応援されている方なら共感していただけるかもしれません、応援しているチームに所属してくれた選手のその後というものは気になるもので、移籍先でのニュースを追ってみたり、ネットで試合をチェックしたりして、彼が活躍したら嬉しい気持ちになっていました。ただ、彼が国外へ移籍するとニュースに触れる頻度も極端に減り、最近は思い出すことも減っていました。

この事故は、そのような折の事故でした。『ケンペス選手』が事故機に乗っていたというニュースが流れています。心のどこかに残っていた『絆』が、僕の忘れていた記憶をどんどん呼び戻し、彼の安否が気になり夢中でネットのニュースを追い続けていました。

調べていくと、南米大陸内での大きな大会の決勝戦へ向かう便だったこと、その結果で日本に凱旋する可能性があったこと、チームの快進撃に人口20万の町全体がお祭り騒ぎだったこと、残念ながら搭乗者は、ほぼ全員亡くなつたこと、この事故で所属選手が3人になりチームは存続の危機に瀕していること…衝撃でした。

この事故の乗客には、日本人はいませんでしたが、『絆』による『共感』を感じ得ました。ケンペス選手を悼み、さらに彼との『絆』を通じ遠い『ブラジルの町の人が愛するチームを失う事』への悲しみをも『共感』できました。絆と共にあれば日本人も外国人もありません。逆に絆がなければ日本人同士でも共感を覚えなかつたでしょう。絆があれば、寛容になれます。絆がなければ共感できず不寛容になります。絆を成熟させるには機会と時間が必要です。ケンペス選手との間には絆を作る機会と時間があり、そのことによりブラジルの人と心を通わせられました。

OS会も、その機会と時間を僕たちに与えてくれている場であると僕は考えています。この場がさらに会員間の『絆』を成熟させ『共感』を生む関係になれる手助けになる場として機能するよう、代表幹事として今年一年頑張っていきます。最後に墜落事故で亡くなつた方々のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

## ねじとの出会いとこれから

(株)コノエ  
河野 裕

祖父・河野栄が昭和27年に会社を創業しましたが、私の父はその跡を継ぐことなく医者の道に進んでいました。私が生まれた時、コノエの本社の4階が両親の自宅でしたので、家業が

あることは知つてはいましたがそれ以上でもそれ以下でもなく、会社はちょっとした遊び場なだけでした。

私が小学3年生の時に北摂の豊中市に引っ越すことになり、そこでコノエとの関係はほぼなくなりました。中学、高校と家から通学し、父の職業柄、医学の道も目指したことはありましたがあと一歩及ばず2浪し、その道は諦め元々興味のあった生物や生命の進化の研究の学部・学科を選び、香川大学農学部生命機能科学科に進学しました。香川と言えば讃岐うどん。朝昼晩とうどんを食べることは日常茶飯事、程よい田舎でバイクや車での旅に楽しみを見出していました（なので四国、瀬戸内は大好きです）。

コノエのことなんて頭から消え去って久しい4回生の夏、研究の仕事がしたいと自身の進路も決めていた時に親から突然「おじいちゃんに癌が見つかって手術が決まったからお見舞いに帰って来なさい」と連絡が。手術当日、元気が取り柄の祖父が癌で手術…死んでしまうの

ではないかと思い励ますために「僕が会社に入って身の回りの世話をくらいするから！安心して手術乗り切って！」と言いました。これがコノエ人生の始まりでした。

大学卒業後、いざ入社して倉庫に入つても、ねじの奥深さについていく間も無く頻繁に祖父のかばん持ちで仕入先様得意先様を挨拶でまわり、会合にも出席、その間の3年間は他社様（工具商社）で修行もさせていただき、ねじを学ぶ前にコノエの超ワンマン体質に危機感を抱き祖父に代表権の譲渡を迫り29歳の時に代表取締役社長に就任しました。

それからというもの、社内外問わず好き放題言われ続けていますがそんなことは何のその、会社の永続のみを頭に会社の経営を行なっています。ねじを締結部品としてだけでなく「繋ぐ」というキーワードに置き換え、「虹色のネジ」といった様々なプロジェクトを始動させています。コノエと付き合ってたら本業は当然として、何か楽しいよね、そう言っていただける会社を目指していきます。



## FE 図面セミナー開催 労務委員会 15社から20名が参加



講師の森氏

労務委員会（梅田真吾委員長）主催によるFEセミナー「図面の見方・描き方コース」が昨年10月7～8日の2日間、東大阪市の大阪府立東大阪高等職業技術専門校で開かれ、組合員企業15社より20名が受講しました。

当セミナーは“FE”（ファスナー・エンジニア）を冠したセミナーの一環として平成6年から毎年1回秋に開かれており、今回で23回目の開催となりました。

当日は午前9時から、同校の森田誠氏による施設利用上の注意事項説明などに続き、本講座を担当して11年目となる森由利子講師による講義に移りました。「図面の見方・描き方コース」では所定のカリキュラムに従って講義が行われ、2日間全15時間の出席履修者には同校から修了書が授与されます。

講師の森氏は最初に、「基本となるJIS

B0001機械製図は毎年改定されており、図面を見る上では常に最新の規格に精通しておく必要があります」と前置きした後に、演習問題のプリントとテキストを用い、「演習問題（出題）」→「答え合わせ」→「解説」の順で単元ごとの理解を経て、次のステップに進むやり方で講義を行いました。

講座内容は、等角図による立体像把握とその図形の平面展開に始まり、斜眼紙と三角定規を用いた図面の大きさ及び様式や尺度など図面の見方や考え方の基本講義ほか、午後からはドラフター（製図台）を使った実習により、三面図で表されている図形からその実体を具体的に想像、判断でき、かつ実体から三面図に直せることなど実務に活用出来る内容となりました。



講義の様子

## ミヤガワ金属販売がV2 福利厚生委員会 第8回硬式テニス大会



優勝チーム  
ミヤガワ金属販売

福利厚生委員会(本田裕久委員長)は昨年10月30日に大阪市此花区のシーサイドテニスガーデン舞洲で「第8回硬式テニス大会」を開催しました。

ここ数年は天候に恵まれず延期となることが

多かった中で今回は天候に恵まれ、無事予定日での開催となりました。福利厚生委員によるテニス大会は2008年から始まり今回で8回目となります。当日は組合員・従業員とその家族が参加してテニスを通じて交流を深めました。

予選リーグ、決勝トーナメント共にダブルスの団体戦形式で試合が行われました。優勝チ

ームはミヤガワ金属販売が2年連続で優勝に輝きました。準優勝はサンコーワインダストリーのAチームでした。入賞チームは表彰式にて健闘を称えられ、増谷理事長より表彰状とトロフィーが手渡されました。

### ・参加チーム(全11チーム)

池田金属工業(3チーム)、岡總、サンコーワインダストリー(2チーム)、谷川精螺、テクノアソシエ(2チーム)、ミヤガワ金属販売、連合チーム(メンバー:コノエ、第一ポールト、竹上鉄螺、増谷ボルト)



トロフィーを手渡す増谷理事長



## 中之島を快走!! 関西ねじ協同組合と合同で 第7回ランニング同好会ひらく

増谷理事長が世話を務めるランニング同好会は、昨年11月19・20日の2日間にわたり大阪市北区の中之島公園一帯で第7回目となる活動を実施しました。

今回は初めて関西ねじ協同組合様を交えての開催となりました。当日は商・工合わせて15社から23人が参加。スポーツ用品メーカー・ミズノのインストラクターから指導を受けながらランニングを楽しみました。

1日目は小雨の中大阪城公園まで片道3km走り、その後は坂道をダッシュ、フォームの矯正や筋力トレーニングなどで汗を流しました。2日目は好天に恵まれ、同じくフォームの矯正や筋力トレーニング、心拍機能を高める「ビル

ドアップ」をこなしました。

同好会について増谷理事長は「両日とも皆さん堪能されていた。インストラクターの方にはランニングに関する相談にも乗って頂いた」と話しました。ランニング同好会は普段とは異なる汗を流す場として毎回好評を博しています。



## 優勝は北角氏(北角紙器)

### 大鉄協&関西ねじ 第1回合同ゴルフコンペを開催

関西ねじ協同組合様との合同行事として11月5日に合同ゴルフコンペを奈良県の秋津原ゴルフクラブで開催しました。当日は両組合より8組・総勢32名が参加、北角紙器(株)社長である北角尚弘氏がグロス86の好成績で見事優勝を飾りました。

会場は奈良県御所市にある18ホールのコース。当日は雲一つない晴天に恵まれ、参加者は見事な秋晴れの下ダブルペリア方式で腕を競いました。

プレー終了後にはクラブハウス内で表彰式が行われ、式に先立ち増谷理事長は「こうした行事を通じて親睦を深め、商工併せて協力していきたい」旨挨拶されました。続いて関西ねじ協同組合の中江良一理事長が「親睦から始まり、やがてビジネスへと繋がっていくような活動をしていきたい」旨挨拶。両組合の今後の交流に期待を寄せました。また、優勝した北角

氏は「初の合同行事ということで、緊張もあり笑いもありというコンペの中で良いスコアが出て嬉しい」と話し、優勝の喜びを語りました。

- ・当日の主な成績（数字はネット）
- ▽優勝／北角尚弘氏（北角紙器）72.8
- ▽準優勝／辻田稔氏（光精工）73.0
- ▽3位／田島祥一氏（丸エム製作所）74.4
- ◆ベストグロス  
田島祥一氏（丸エム製作所）84



参加者による記念撮影

## 豊かな自然を満喫

### 大鉄協&関西ねじ 合同ハイキングひらく

関西ねじ協同組合様との合同行事として、昨年11月3日に2組合合同によるハイキングを実施しました。当日は両組合より8社25名が参加。生駒山系の豊かな自然を満喫しました。

企画では今回を皮切りとして、合計6回に分けて生駒山系を歩く予定となっています。第1回目はJR津田駅より出発し、国見山と交野山を登った後にキャンプ場を横切るコース。約12kmを6時間かけて歩きました。



集合写真(交野山山頂にて)

参加者は午前8時半にJR学研都市線津田駅に集合。増谷理事長より行程や注意事項の説明があった後に和気藹々と歩き始めました。10分ほど市街を歩いた後に国見山（標高286.5m）に入山。なだらかな山道を歩いた後にヒノキの植林帯で休憩、記念撮影を行いました。

その後は頂上に向け急な階段を10分ほど登り登頂、厳しい坂道が続きましたが無事登ることができました。国見山を下りた後は交野山（標高341m）へ。ゴルフ場、白旗池を横切った後に交野山へと入山し、標高差の厳しい上り坂を超えて昼前には交野山を無事登頂。山頂の巨岩で再び記念撮影を行いました。

キャンプ場で昼食休憩を取った後、面積にして約4万m<sup>2</sup>の豊かな水をたたえる“くろんど池”周辺を歩き、展望台に。その後は緑の生い茂る山道を下りて午後2時過ぎにゴールである京阪私市駅に無事到着しました。

## 第5回FEジュニアセミナー 労務委員会 ねじの基礎を学ぶ



樺本社長

労務委員会(梅田真吾委員長)は昨年11月18日に「第5回 FE JR(ジュニア)セミナー」を市内の鐵鋼会館で開催しました。当日は27社より53名が参加し、セミナーでは(株)三和鉄螺製作所の樺本宏志社長をはじめ、

同社の社員が各单元の講師となってねじの基礎知識について講義を行いました。

増谷理事長は開講式で「ねじには様々な商品があるが基本は同じ。今日はその基本をしっかりと学んで業務に活かすと共に産業人としての基本的な精神を学んでもらえればと思う」旨述べ、授業に臨む参加者を励ました。

一限目は樺本社長より「ねじ入門」をテーマとして講義が行われました。講義では映像を通じて三和鉄螺製作所の水走工場・UI工場を

見学しました。また樺本社長はこの他にもねじの伝来やかつて伸線等に利用されていた東大阪市の辻子谷水車郷を紹介されました。

セミナーはこの後図面の読み方を学ぶ「一般基礎」から始まり、受講者は「材料・熱処理」「圧造」「切削・転造」「めっき」の各項目についてねじの基礎を学びました。セミナーは午後5時まで続き、最後には質疑応答が行われ、アンケート記入を経て閉講となりました。



セミナーの模様

## 由良豊一氏(由良産商(株) 嘉亀鋼業(株)会長)が逝去



昨年10月26日に逝去された由良豊一氏(由良産商(株)会長、嘉亀鋼業(株)会長、大阪鉄螺卸商協同組合元理事長、日本ねじ商業協同組合連合会元会長)の、由良産商(株)および嘉亀鋼業(株)による合同社葬が12月

7日、大阪市中央区の真宗大谷派「難波別院(南御堂)」にて執り行われました。

喪主は長男で由良産商(株)社長の由良泰雅氏と、次男で嘉亀鋼業(株)社長の由良宜彦氏。葬儀委員長は本組合理事長である増谷彰彦氏。合同社葬には同社グループ取引先をはじめ、経済産業省近畿経済産業局や住友精密工業(株)の関係者、金融機関、由良産商(株)および嘉亀鋼業(株)の社員、故人の友人・知人ら1千名超が参列しました。

一歳違いで公私にわたり長年付き合いのあった井上好一氏(井上鉄螺工業(株)相談役)は、昨年7月の日本ねじ商連総会時、芦屋から六甲山経由で有馬に至る踏破ルートを同行、故人の健脚ぶりに感心したエピソードなどを弔事の中で紹介、早過ぎる死(享年73歳)を惜しました。続いて二人三脚で共に航空機事業分野を立ち上げた五十嵐健氏(ジャパン・エアロ・ネットワーク(株)COO)、長年の取引関係にある吉岡真一氏(浜中ナット販売(株)社長)、関西ねじ協同組合理事長で同社と取引のある中江良一氏(紀州ファスナー(株)社長)がそれぞれ弔辞を述べられました。

葬儀委員長を務めた増谷理事長は故人について、「自社のみならず航空機産業への参入を果たされ、業界にあっては『ねじ重量表』編纂や情報発信、地球環境保全に尽力されるなど多大な功績を残されただけに、謹んで哀悼の意を表したい」旨挨拶しました。合掌。

## タイ進出事例について学ぶ 年末恒例の経営講演会＆忘年会を開催



講師の真野氏

恒例の経営講演会ならびに忘年会が昨年12月2日に大阪市内で開催されました。タイ進出事例をテーマとした経営講演会の後、忘年会では英語落語やビンゴゲームなどを交え、82社・89名の参

加者は和やかに行く年を送りました。

第1部の講演会は経営委員会（桂知伸委員長）の企画・運営で行われました。増谷理事長による開会の辞に続き、“タイへの進出にかかる事例紹介～各企業のSWOT分析を通じての販売戦略構築～”をテーマに、ジェトロの「新輸出大国コンソーシアム」専門家である真野秀次郎氏の話を約1時間半にわたり聴講しました。

講演の中で、真野氏は大型トラックや自動二輪部品の製造・販売、電子部品用金型・環境機器・理化学機器製造、金属販売商社、締結部品製造など多様な業種における様々な支援例について解説。このうちFA機器や大型ブレーキ製造会社のケースでは市場・規制調査や現地調査に始まり、法務・労務調査、登録・許認可手続き、物件探し、事業計画策定など具体的な支援内容を挙げました。

また真野氏は「国内がダメだから海外に…」とするのではなく、某電機会社を例に挙げます国内販売戦略の策定からスタートし、“売れないと理由”をSWOT分析し自社の強み・弱み、機会、脅威などを把握し直し、販売増加の可能性を検討、目標設定に従って“PDCA”的サイクルを回していくことが必要であると解説しました。同時に、自らが携わった中での失敗事例についても触れ、数々の新興国進出支援活動を通じて感じたことや専門家として心がけてきた事柄で講演を締めくくりました。

引き続いての忘年会は山田尚央総務委員の司会により進められ、最初に去る昨年10月26日逝去された由良豊一元理事長の冥福を祈り、全員で黙祷を捧げました。続いて増谷理事長が関係者の尽力に謝意を表するとともに、特に航空機産業への参入に注力された由良氏の数多くの功績について紹介。「英国のEU離脱や米国ではトランプ氏の次期大統領就任決定など、今年を振り返ると“確実性”的ない1年だったが、来年こそ本当の意味で良い年となるよう念願している」旨挨拶されました。

このあと小林三洋相談役・理事によるユーモア溢れる乾杯の発声から開宴。竜来彼方（リューク・カナダ）氏による英語落語や豪華景品が当たるビンゴゲーム抽選会も行われ、出席者は和やかに歓談。鈴木啓次副理事長の音頭による恒例の“大阪締め”を合図に忘年会は終了しました。



講演会の模様



忘年会で挨拶する増谷理事長

# シリーズ 私の宝物

## 「私の趣味」

太陽ファスナー(株)  
内桶祥子

「はいこれ。あんたも始めてみたら？」  
数年前、母と東大寺へ行った時に手渡された御朱印帳。お出掛けが好きな母は以前からどこかへ行く度に御朱印とやらをもらってきては嬉しそうに話していた気がする。  
こうして私の御朱印集めが始まった。いつも母は私を巻き込んでいく。

遠い昔、もともとはお寺へ参拝し、写経をして納めることでもらえた御朱印。それがいつの頃からか納経せずとも参拝の証として、またお寺だけでなく神社でももらえるようになったことで普及した。神仏や寺社名を書いてもらえる御朱印は、お守りやお札と同じく御本尊や御神体の分身とも言える。

恥ずかしい話、そんなありがたい御朱印を私はお寺と神社の分からぬまま集め始めた。母にもらった可愛い花柄の御朱印帳。文字の黒に印の朱、紙の白のコントラスト。それだけでワクワクした。無知でもそれなりに楽しんでいた。

そんな私の御朱印集めが変わる出来事があった。奈良の長谷寺へ行った時だ。入口から399段続く長い階段をやっとの思いで登り終えると参拝をして授与所に並んだ。そこでとても驚いた。前に、杖をつき歩くのもやっとという様子のおじいさんがいたからだ。どうや

って、どんな思いでここまで歩いてきたのだろう。御朱印を書いてもらう間ずっと手を合わせて待ち、嬉しそうに受け取ったおじいさんは、

「いつまでこうしてお参りできるかなあ。」と言った。

今も昔も様々な思いをもって寺社を訪れ、御朱印をもらう人がいるのだ。

以来、私は事前に寺社を調べてから参拝することにしている。少しあの時感じた重みや気持ちを形に出来ているだろうか。

昨今、御朱印ガールなどと、テレビやネットで取り上げられる中で、若者がスタンプラリー感覚で集めるのはいかがなものかといった批判をよく耳にする。きっと、少し前の私は批判されている典型的な御朱印ガールだっただろう。

御朱印帳が可愛いから。何故か楽しいから。私はそれで良いと思う。若い世代が寺社に興味を持つきっかけとなり、実際に足を運ぶ。そうすれば、厳かな空気を肌で感じ、様々な出会いがあって、学ぶことが必ずある。そういうことが一番大事なのだと思うから。

今は母との共通の趣味になった御朱印集め。いつか自分の子供に御朱印帳をプレゼントする日がくるだろうか。

### 表紙のことば

#### 大阪城公園の梅と野鳥

(株)丸エム製作所 岩崎 晓生

日本で見ることのできる野鳥は約600種。よほど探そうとしない限り、普段目にするのは10種程度でしょうか。

撮影地は大阪城公園で、関西でも有名な野鳥の探鳥地です。160種を越える野鳥を観測できますが、季節の花と野鳥を撮影できる見事なロケーションが魅力です。何度も通った末、「雄のジョウビタキ」が梅の木へ羽搏き、枝に留まる

瞬間を撮影することができました。

本年は酉年。十二支の10番目にあたり、漢字の由来は「酒壺、酒瓶」だそうです。収穫した穀物等を発酵させて、お酒を作るところから、「収穫」を意味するようです。普段の努力が開花し、見事な結果(収穫)が得られる1年でありますように。



## 今後の主な年間スケジュール

2017.2

日 時				行 事 (予 定)	場 所
2 20 17 17 26	月 金 金 日	14:30 16:00 10:00		広報誌(92号)発行 三役会 理事会／役員懇親会 第43回ボウリング大会	セントレジスホテル大阪 セントレジスホテル大阪 ボウルイングス
3 8 8	3~4 水 水	9:00 15:30 16:30		第30回 FEセミナー(Stコース) 三役会 理事会	鉄鋼会館 鉄鋼会館 鉄鋼会館
4 19 19	19 水	13:30 15:30		三役会 理事会	鉄鋼会館 鉄鋼会館
5 26	金	14:00		通常総会(理事会)	ヴィアーレ大阪
6 14 14 未定	水 水	15:30 16:30		三役会 理事会 第69回野球大会 キャプテン会議	鉄鋼会館 鉄鋼会館 未定
7 23 30	日 日	9:00 9:00		第69回野球大会(1~2回戦) 第69回野球大会(2~3回戦) ねじ流通商社経営実態調査票、組合員に配布	村田機械(神足球場) 村田機械(神足球場) (8月回収)
9 3 13 13 20	日 水 水 水	9:00 15:30 16:30		第69回野球大会(準決勝・決勝他) 三役会 理事会 広報誌(93号)発行	太陽ヶ丘球場(宇治市) 鉄鋼会館 鉄鋼会館
10 未定 未定		9:00 9:00		第24回 FEセミナー(図面の見方・描き方) 第9回 テニス大会	テクノセンター東大阪 未定
11 8 8 未定	水 水	15:30 16:30 9:00		三役会 理事会 第6回 FEセミナー(Jrコース)	鉄鋼会館 鉄鋼会館 鉄鋼会館
12 1 1	金 金	16:30 18:30		講演会 忘年会	未定 未定
2018 1 12	金	10:30		新年互礼会(関西ねじ協同組合様共催)	シティプラザ大阪

\*上記は予定ですので、ご確認をお願い致します。

### 編 集 後 記

昨年はイギリスがEU離脱を表明し、年が明け2017年、アメリカでトランプ新大統領が誕生しました。日本では、平成の次の元号の話が出てきております。国内外の大きなニュースに時代の変化を感じさせられます。

寄稿頂いた皆様には心より御礼申し上げます。  
本当にありがとうございました。

(武田喜和)

発行所  
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10  
(ツチノビル)

**大阪鉄螺卸商協同組合**  
電話 (06) 6271-4550

印刷所  
〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5  
**株式会社 ベン・アート**  
電話 (06) 6973-3338

# 大阪鉢螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鉢螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

## 取扱商品

医療・がん・傷害保険

生命保険

自動車保険

超保険  
超ビジネス保険



火災保険

賠償責任保険



\* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で  
(株)東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。  
お見積もり、ご相談は無料ですので、  
お気軽にお問い合わせください。

## お問い合わせ先

大阪鉢螺卸商協同組合

担当：中西

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10

ツチノビル

TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店

株式会社東海日動パートナーズかんさい

TEL 06-4963-2813

大阪南支店 担当：井上

FAX 06-4963-2814

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-6-26 大阪グリーンビル4F

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社  
大阪南支店 直轄S

TEL 06-6203-0821